



紋川組

富山県富山市東老田 1238-1

代表 **紋川 育久** / 聞き手 **穂積 隆信**

足場工事業で堅調に成長し、魅力あふれる会社を築く

——まずは、紋川代表の歩みからお聞かせ下さい。

中学校卒業後すぐに社会に出て、建築業界に入りました。ある親方のもとで修業を積み、その後の業種を経験してみたいという思いからこの業界を離れ、色んな職を転々としてきました。その中で、私には今の足場工事の仕事が最も合っていると感じ、戻ってきたのです。それまでの経験も、良い社会勉強になったと思います。そうして現場経験もそこそこに20代後半で独立しました。

——独立後は、いかがでしたか。

勢いだけではやっていけないなど実感しました（笑）。失敗も多く経験し、悔しさをバネに必死で仕事に打ち込んで、10年かけて少しずつ成長していきました。現在は、職人5人と事務員1人、ベトナムからの研修生もいます。

——お仕事では、どのようなことを心がけていらっしゃいますか。

この業界は、怖いイメージを持たれてしまう方が多いです。現場で質のいい仕事をするにはもちろん大事ですが、同じ仕事をして、たとえば挨拶をするのとはしないのでは、

お客様が持つ印象も大きく違う。ですから、私は現場での挨拶と掃除を徹底するよう、日頃から皆に話しています。同時に、技術を磨く努力を惜みず、言われたことをしっかりと守れる人材を育てることが、いずれ強みとなると思います。

——今後についてはいかがですか。

今は個人事業ですが、ゆくゆくは法人化して設備や人材をより充実させ、事業基盤を強固なものにしたいですね。そして時代に合った組織づくりで、建築業界の中でも魅力あふれる会社になりたいです。